

## 令和 8 年度 伊豆市一般会計予算 審査概要 議案第 7 号 予算委員会 質疑まとめ

### 【教育部所管】

#### 主な質疑事項

1. 外国語指導助手（ALT）業務委託料  
学校統合に伴い 1 名減となったこと、またプロポーザルによる 3 年契約の金額確定により委託料が減額となった。
2. 中学校施設修繕料  
ICT 備品・パソコン修繕や突発的な修繕に備えた予算として計上。開校後に突発的な修繕需要があることが判明したため、厚めに予算を確保した。
3. 修善寺中学校給食棟の児童クラブ活用  
こひつじ園の定員を 60 名に増やし 6 年生まで受入れを拡大。あゆっこは現状の 1 年生対応を維持し、令和 8 年度は募集状況を見極める年と位置づけている。
4. 学校給食費・無償化対応  
国の物価高騰重点支援金を活用し、令和 8 年度は小・中学校ともに給食費の無償化対応を予定。ただし支援金の継続は国の動向次第であり、万が一なくなった場合は保護者負担のあり方を保護者と議論していく方針。
5. 学びの探求向上事業（教材ライセンス料）  
プログラミング教材（中学 1 年生対象）となるほどエージェント（小学生対象）の合算。メーカーによる指導マニュアルの共有や 1 人 1 台端末での双方向活用が可能な仕組みを整備。ライセンス料は毎年発生する。
6. GIGA スクール推進事業（短焦点プロジェクター）  
小学校への導入にあたり、マグネット式シートを黒板に貼ることで投影が可能。教材提示や児童の回答共有など多様な活用が想定される。
7. 修善寺地区小学校再編検討業務委託  
修善寺中学校を有力候補地として、建物の健全度調査・改修費の試算を行う委託業務。廃校跡地利用は含まない。
8. 放課後児童クラブの環境整備  
これまでの課題はおおむね改善済み。修善寺小学校グラウンドの排水問題については、通路の嵩上げ・コンクリート舗装により対応済み。令和 8 年度予算は要望に基づく通常の修繕・備品補充の範囲。
9. 図書館デジタルアーカイブ導入  
狩野川台風資料等の劣化対応として導入。文化協会の DVD 映像も含め、どこからでもア

クセス可能なプラットフォームを構築。学校の 1 人 1 台端末からも活用できる環境を整備する。

#### 10. 中学生バス通学補助

アンケート結果では通学利用 78%、通学以外での利用約 60%と一定の利用実績あり。引き続き事業を継続する。

### 【健康福祉部所管】

#### 主な質疑事項

##### 1. 福祉避難所の整備

市内 7 施設（4 特養・駿豆学園・中伊豆リハビリ・ニチイホーム）を指定。まず一時避難所に対応後、体制が整い次第福祉避難所へ移動する方式。備品整備については今後検討していく。

##### 2. 生活保護の状況

現状の世帯数・人数で推移する見込み。パーミルは予算上では算出していない。

##### 3. 高齢者生きがい対策事業・補聴器補助

いきいき工芸センターはほぼ毎日稼働中。補聴器補助については費用対効果が不明確なため、学会資料や国・県の動向を注視しながら引き続き慎重に検討していく。

##### 4. 高齢者居場所づくり事業（新規）

居場所の立ち上げを支援する新規事業。1 か所あたり上限 10 万円の補助を行い、自主的な運営を主軸としながら市でも応援していく。

##### 5. 小児科時間外診療補助

朝の診療が医師不足により廃止となり、夜間分のみでの計上となったため前年度より減額。利用者数への大きな影響は確認されていない。

##### 6. 敬老会事業

後期高齢者数・祝品配布率ともに増加傾向。予算は執行率を踏まえた計上のため前年比減となっているが、実態としては参加者・利用率ともに増加している。

##### 7. こども誰でも通園制度（新規・令和 8 年 4 月開始）

なかいず・あまぎ認定こども園で余裕型により実施。定員に余裕のある枠を活用するため追加の保育士配置は不要。ホームページ・広報 3 月号で周知中。

##### 8. 伊豆っ子未来応援金

第 1 子・第 2 子・第 3 子それぞれの人数を見込んで計上。少子化の影響により前年度比で減少。

##### 9. 病児病後児保育事業

令和 6 年度実績をもとに令和 8 年度も同程度の利用を見込んで計上。

##### 10. ぎゅぎゅっと子育て応援補助金（新規）

子育て中の親を対象に、団体が協働・連携して行う取り組みへの補助。市内で子育て支援活動を行う任意団体に声かけを行う予定。

## 【市民部所管】

### 主な質疑事項

1. マイナンバーカード普及促進  
2 月末現在の保有率は 86.3%。100%を目標に訪問申請を継続。障害者施設・高齢者宅への出向対応も実施しており、マイナ保険証との紐づけ登録の推進も併せて取り組んでいく。
2. 個人市民税・法人市民税の予算見込み  
直近 3 か年の収納状況をもとに算出。個人は社会経済活動の回復から所得増を見込む一方、法人は法人数・収納額の減少傾向を反映しマイナス計上。
3. 地方税電子申告（e-Tax 推進）  
来場者数は減少傾向にあり、スマホ申告の増加によるブース削減は将来的に検討。コンビニ・QR コード収納を推進し、市民の利便性向上と収納率向上を図る。
4. 収納率向上の取組み  
現年・滞繰合計 98%を目標に、早期調査・差し押さえを含む現年重視の徴収を実施。
5. 平和寺問題（環境保全事業）  
市一般財源を充当しつつ、県の代執行・財団補填を求めて協議中。県が代執行を行い原因者である平和寺に費用請求する方向で調整が進んでいる。
6. 剪定枝粉碎機補助金（新規）  
今年度 8 件の申請実績あり。広報を強化しながら普及を促進。科目については環境保全への移管を来年度以降検討する。
7. リサイクルセンター管理事業  
受入ヤードの雨天時対応として、カラーリング舗装を実施済み。引き続き市民の声を踏まえた環境改善に取り組む。
8. 生ごみ処理機購入費補助金  
毎年 10 件以上の申請実績あり。広報を強化しながらコンポスト・電気式処理機ともに普及を促進していく。
9. 柿木処分場長寿命化工事  
残容量を非常時対応として確保しつつ、他は県外搬出で処分。長寿命化工事により今後 30 年の維持を目指す。
10. 河川水質検査・土壌検査  
大平柿木地区は平和寺問題への対応として継続。持越地区は鉱山跡地として地域との約束

により継続。他地区については地域と協議しながら縮小を検討していく。

**【採決結果】**

挙手多数 原案可決